

先生各位

クオンティフェロンの結果値報告における 上下限値の設定について

謹啓 時下益々ご清祥のこととお喜び申し上げます。また、平素はひとかたならぬお引き立てを賜わり厚くお礼申し上げます。

さて、クオンティフェロン (TB IFN-) の検査結果のご報告につきまして、判定結果に加えて IFN- 活性値も併せてご報告させていただいておりますが、このたび、報告値の上下限値を設定させていただきますので、ご案内申し上げます。

今後とも変わらぬご愛顧のほど、よろしくお願い申し上げます。

謹白

記

《変更日》 平成 18 年 9 月 21 日 (木) 受付分より

《変更内容》

検査コード	検査項目名称	変更内容	変更後	変更前
6172	クオンティフェロン (TB IFN-)	報告上限値	15.00 以上 (IU / ml)	設定なし
		報告下限値	0.05 未満 (IU / ml)	設定なし

ESAT-6、CFP-10 に対する IFN- 活性値

《変更理由》

これまで特異抗原 (ESAT-6 および CFP-10) に対する IFN- 活性値の報告上下限値は、特に設定しておりませんでした。試薬メーカーの設定した測定範囲が 0.05 ~ 15.00 IU / ml であることから、0.05 IU / ml 未満および 15.00 IU / ml 以上につきましては、上記の報告形態に変更させていただきます。

なお、本検査は全血を試料とし、結核菌特異蛋白との共培養による遊離 IFN- を定量的に測定するものであることから、その活性値は採血後から培養までの検体保存条件 (時間、温度) に大きく影響されます。したがって活性値のご判断には十分にご留意いただきますようお願い申し上げます。